



楽しい夏休みを過ごせていますか？

日差しが強い中で、海やプールなど屋外で過ごす機会も多くなります。

こまめに水分や塩分補給をして、熱中症や脱水にならないように気を付けましょう。

また8月下旬から9月になると朝晩の気温差も大きくなり、喘息発作が出やすくなります。

喘息治療をしている方で、夏の間はお薬を休止している方も早めに内服を再開し、発作が出ないようにしましょう。

8月12日(日)は小児科休日当番医のため17時まで診療

8月13日(月)から15日(水)までのお盆は19時まで臨時診療を行います。

8月18日(土)から8月25日(土)までは長期休診します。

喘息やアレルギーで定期処方を受けている方は、お薬切れのないように受診をお願いします。



～夏の熱中症対策について～



夏の暑いこの季節は熱中症を起こしやすい時期です。

通常人間の身体は、運動したり暑いところにいたりして体温が上昇しても、汗の蒸発や皮膚温度が上昇することで体温が外へ逃げる仕組みになっていて、体温調節が自然と行われるようになっています。高温多湿で体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調整機能が働かなくなると、めまいや倦怠感、頭痛、吐き気、手足のしびれなどを感じます。ひどくなるとけいれんや意識障害を起こすこともあります。

また屋外にいるときだけでなく、室内で過ごしていても室温や湿度が高いと身体から熱が逃げにくくなり、熱中症になることがあります。特に子どもは体温調節機能が未熟なため、熱中症にかかりやすく注意が必要です。



熱中症を予防するためには？

熱中症かも...と思ったら

- ①外出の際は、身体を締め付けない涼しい服装で。帽子や日傘で日よけ対策も忘れずに。
- ②遊びや運動の最中には必要に応じて休憩を取るようにし、喉が渇かなくてもこまめに水分、塩分補給をする。外出する時は、ゼリータイプの経口補水液をシャベット状にして持参するのもおすすめです。
- ③室温をこまめにチェックする。エアコンや扇風機を上手に活用し、室温が上がりすぎないようにする。
- ④お子さまの顔色や汗のかき方を観察する。



- ①涼しい場所、可能であればエアコンのある部屋に移動し、衣服をゆるめて安静に寝かせる。
- ②首の周り、脇の下、太ももの付け根など太い血管がある部分に氷水や保冷剤などをあて、体を冷やす。
- ③水分、塩分、イオン飲料などをこまめに摂らせる。
- ④念のため、病院を受診する。
- ⑤受け答えや会話がおかしかったり、嘔吐、ふらつき、ぐったりしているなどの症状があれば、すぐに病院を受診してください。



◆メンテナンス工事、診療についてお知らせ◆



7月からクリニック外壁のメンテナンスを開始しています。

メンテナンス期間は、約3ヶ月を予定しています。安全には十分注意をして作業を行っていますが、保護者の方もお子さまが近づかないよう、ご配慮をお願いします。



今まで予防接種や健診で受診した際に、吸入・吸引やお薬の処方も一緒に行ってきましたが、混合診療(保険診療と予防接種、健診などの自費診療を同じ日に行うこと)ができなくなりました。ご迷惑をおかけし申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。



予防接種の受け忘れはありませんか？

夏休みを利用して予防接種を受けましょう！！

当院で予防接種を受けたことのない方、カルテのない兄弟姉妹の方も、母子手帳を持参していただければ、受けられる予防接種がないかの確認ができますので、お気軽にスタッフにご相談ください。10月1日からインフルエンザワクチンの接種を開始予定です。接種が始まる前に、受けられる予防接種を済ませておきましょう。



◆ DT(ジフテリア・破傷風) ◆

接種対象年齢:11歳～13歳未満
ワクチンの都合上完全予約制です。インターネット予約はできませんので、受付直通電話にて予約をお願いします。今後の接種予定日は以下の通りです。
※予約状況により、実施を中止する場合があります。
8月28日(火)、29日(水)、30日(木)
9月11日(火)、27日(木)
10月11日(木)、23日(火)
11月13日(火)、29日(木)
12月13日(木)、26日(水)、27日(木)



◆ おたふくかせ ◆

接種対象年齢:1歳～(2回接種)
※大分市に住民票のある1歳～2歳未満のお子さまは、助成(助成額3,000円)が受けられます。子育てはっとクーポンとの併用も可能です。
平成28年4月～平成28年9月生まれのお子さまは、2歳を過ぎていても、平成30年9月30日までは助成を受けることができます。
※おたふくかせの2回目の接種は、MR2期と同時期の接種をおすすめしています。2回接種を受けることで、確実な免疫をつけることができます。



◆ 日本脳炎2期 ◆

接種対象年齢:9歳～13歳未満
◆日本脳炎2期の対象年齢の方で、DTの接種対象年齢(11歳～13歳未満の方)は、同時接種ができます。
※平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの方で、7歳半までに第1期の接種(追加接種まで)が終了していない場合は、2期の定期年齢枠(9歳～13歳未満の間)で残りの回数分の接種が受けられます。
※平成10年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は、接種日時点で20歳未満であれば、接種が終わっていない回数分を無料で接種が受けられます。

◆ MR2期 ◆

接種対象年齢
平成31年4月に小学校入学予定のお子さま(平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ)平成31年3月31日までの間、無料で受けられます。



インフルエンザワクチン予約受付開始

10月1日(月)から接種開始予定です。接種してから体内に抗体がつくまで通常2週間ほどかかり、ワクチンの効果は約半年間持続します。13歳未満のお子さまは2回接種が必要です。インフルエンザ流行前にしっかり抗体がつくよう、早めに接種を済ませましょう。
卵アレルギーのある方、過去にインフルエンザワクチンで腕が腫れたことのある方は、接種1週間前から抗アレルギー剤の内服が必要になることがありますので、早めに相談してください。



アレルギー治療中の方、初めてインフルエンザワクチンを接種する方は、予約時に必ずお伝えください。ワクチンの不足の可能性や混雑が予想されます。インフルエンザワクチンについての情報は、メール、クリニックのホームページでお知らせする予定です。

メールアドレスの登録と当院からのメールが受信できるよう(yoyaku@wakayama-kodomo.com)受信許可設定をお願いします。



病院でお薬を塗る時は・・・



「アレルギーの湿疹」や「とびひ」は病院で数日間、お薬を塗ることがあります。肌を清潔にして塗った方が効果的なので、受診する時はお風呂に入って、汗や汚れをきれいに落として来てください。病院でお薬を塗った後、数時間でお風呂やシャワーを浴びると意味がないばかりか、自宅での塗り直しが必要になります。仕事や保育園で日中の受診が難しい時は、月、火、木の夜間診療日であれば18時以降の予約も可能です。予約時間については、看護師にご相談ください。

今後の予定

8月12日(日) 小児科休日当番17時まで診療
8月13日(月)～15日(水) お盆臨時診療19時まで
8月18日(土)～8月25日(土) 夏季臨時休診
8月28日(火) 3歳児健診健診のため
午後は15時半から診療
9月17日(月)24(月)
祝日・休日のため休診

